

「学術資料マネジメントの基礎」実施案内

授業目的・概要

【授業概要】

本授業は学術資料マネジメントに関する基礎的な知識・態度を学ぶことを目的とした、遠隔型のeラーニングによる講義です。学術資料と一言と言ってもその対象とするものは多岐に亘っています。様々な角度から学術資料とその取扱い方について学ぶことで、あらゆる研究の基礎となる学術資料への向き合い方について自ら考えていくための基礎的な態度を身に付けてもらうことを目指します。

【授業目的】

本講義の主な学習目標は以下のとおり。

- ・学術的な資料の取り扱いに関する基礎的な姿勢を理解する。
- ・学術的な資料に関する基礎的な知識を説明できるようになる。
- ・自己の研究に引き付けて学術的な資料との対し方を考えることができるようになる。
- ・学術的な資料の持つ多面的な知的情報に接し、その面白さを理解できるようになる。

担当教員

クレインス・フレデリック(文化科学研究科 国際日本研究専攻)准教授

久保 正敏(総合研究大学院大学・国立民族学博物館)名誉教授

武井 協三(国文学研究資料館)名誉教授

七田 麻美子(総合研究大学院大学)理事付准教授

(授業代表:山下 則子(文化科学研究科長)教授)

日程・開催場所等

- 単位数 : 1単位
- 使用言語 : 日本語
- 開講日程等 : 平成 29 年 7 月 11 日(火)～平成 29 年 9 月 15 日(金)
 - ・eラーニングシステム使用方法及びID発行等については、上記開講日より、担当教員から受講者へ順次連絡する。
 - ・eラーニングシステムによる遠隔講義のため、開講期間中自宅等の PC から受講することができる。
 - ・本授業科目は、eラーニングシステム上で視聴する各講義に関するレポート、および最終レポート課題に基づき成績評価を行う。なお、レポート課題については、受講者に別途通知する。
レポート課題の提出締切: 平成 29 年 9 月 15 日(金)
 - ・eラーニングシステム動作環境:OS: Windows 7/8.1/10
ブラウザ: Internet Explorer 11, Edge, Firefox,
Chrom

○授業について

授業の内容と方法:遠隔教育(eラーニング)による講義(集中)

- 1 ガイダンス:資料学に関する基本的な説明とLMS(ラーニングマネジメントシステム)の使用方法について
- 2 演劇を再構築する資料とは1(講義)
- 3 演劇を再構築する資料とは2(講義)
- 4 日本関係欧文史料と史料批判1(講義)
- 5 日本関係欧文史料と史料批判2(講義)
- 6 日本関係欧文史料と史料批判3(講義)
- 7 日本関係欧文史料と史料批判4(講義)
- 8 日本関係欧文史料と史料批判5(講義)
- 9 日本関係欧文史料と史料批判6(講義)
- 10 日本関係欧文史料と史料批判7(講義)
- 11 学術資料の情報学1(講義)
- 12 学術資料の情報学2(講義)
- 13 学術資料の情報学3(講義)
- 14 学術資料の情報学4(講義)
- 15 学術資料の情報学5(講義)

申込方法

申込み締切日:平成29年7月7日(金)

「学術資料マネジメントの基礎」受講申込書の提出をもって本科目の履修が登録されます。
期日までに各基盤機関の大学院係までご提出ください。

受講申込方法:別添の受講申込書を申込締切日までにご所属の専攻大学院担当係へご提出ください。

【本授業科目の内容に関すること】

総合研究大学院大学

七田 麻美子(理事付准教授)

E-mail: shichida_mamiko@soken.ac.jp

【本授業科目の手続全般に関すること】

学務課基盤総括係

Tel: 046-858-1583/1531

E-mail: soukatsu1@ml.soken.ac.jp